

# 富大比較文学

第二期 第二集 富山大学人文学部近代文学ゼミ編集・刊行

2019

- 湊かなえ「少女」論・・・・・・・・・・太田 晴菜 (1)
- 高殿円『カミングアウト!』における神話・・・・・・・・岡村 知瑛 (23)
- 尾崎一雄作品における蜜蜂の登場理由とその役割・・・・・・・・河内 秀斗 (39)
- 萩原朔太郎『青猫』『蝶を夢む』の巻頭詩の役割・・・・・・・・北岡 美乃梨 (58)
- 山内マリコ「やがて哀しき女の子」にみる地方都市の女性像  
・・・・・・・・作田 佳菜 (76)
- 村山早紀『シェーラひめのぼうけん』における親と子・・・・・・・・新宅 紀夏 (95)
- 菊池寛「友と友の間」について・・・・・・・・中田 茜 (117)
- 中原淳一の描く少女の髪・・・・・・・・藤井 晴香 (164)
- 山内マリコ『メガネと放蕩娘』における富山と学生によるまちづくり  
・・・・・・・・村上 瑞季 (197)
- 小川洋子「シュガータイム」における食と病・・・・・・・・山口 由莉 (217)
- 安部公房「空飛ぶ男」から見る疎外の問題・・・・・・・・山本 真帆 (244)
- 筒井康隆「最後の喫煙者」と嫌煙権運動・・・・・・・・吉澤 優 (264)
- 澁澤龍彦におけるサドの翻案—方法と発展について—・・・・・・・・片野 歆菜 (295)

## Ⅱ 編集後記Ⅱ

富山大学人文学部日本文学分野近現代文学ゼミによる、第二期『富大比較文学』第二集をお届け致します。

今号には、二〇一八年度卒業生一三名の論文を掲載する事となりました。寄稿いただいた皆さんには、感謝申し上げます。

今年度は、まちづくり富山が主宰する「学生まちづくりコンペティション2018」に近現代文学ゼミが採択され、六月に山内マリコ『メガネと放蕩娘』公開読書会、一〇月に文学散歩を開催しました。また、一二月には芥川龍之介「芋粥」に登場する芋粥の再現実験も行い、多くのメディアに取り上げていただきました。

なお、本年度をもちまして、日本文学分野近現代文学ゼミの小谷瑛輔先生が退職される運びとなりました。これまでのご指導にお礼申し上げます。

第二期『富大比較文学』第二集が研究面での繋がりを広げ、深める一助となる事を願ってやみません。今後の発展に向けて、さらに精進して参りたいと存じますので、ぜひご意見、ご批評をお寄せいただければ幸いです。

(片野 敏菜)

第二期 富大比較文学 第二集

発行日 2019年2月9日

編集人 富山大学人文学部近代文学ゼミ

発行人 富山大学人文学部近代文学ゼミ

代表 小谷瑛輔

問い合わせ先 富山大学人間発達科学部西田谷研究室

富山県富山市五福3190

076-445-6308 (研究室 直)

nisitaya@edu.u-toyama.ac.jp